

2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月26日

上場会社名 株式会社 日清製粉グループ本社 上場取引所 東
 コード番号 2002 URL <https://www.nisshin.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 見目 信樹
 問合せ先責任者 (役職名) 総務本部広報部長 (氏名) 町田 英樹 TEL 03-5282-6650
 四半期報告書提出予定日 2018年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	141,271	8.0	7,260	17.4	9,052	13.7	6,083	10.2
2018年3月期第1四半期	130,788	△3.8	6,185	19.3	7,960	10.1	5,521	5.1

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 15,375百万円 (114.5%) 2018年3月期第1四半期 7,166百万円 (109.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	20.49	20.46
2018年3月期第1四半期	18.32	18.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	598,390	421,784	68.1
2018年3月期	591,512	413,794	67.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 407,708百万円 2018年3月期 399,278百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	14.00	—	15.00	29.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	285,000	8.7	13,300	1.5	15,700	0.7	10,600	0.4	35.70
通期	565,000	4.6	27,500	1.1	32,000	0.6	22,000	3.1	74.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	304,357,891株	2018年3月期	304,357,891株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	7,391,180株	2018年3月期	7,426,065株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	296,952,639株	2018年3月期1Q	301,323,571株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

〔当第1四半期の概況〕

当第1四半期につきましては、企業収益や雇用・所得環境の改善等により景気は緩やかに回復しましたが、一方で、人手不足や原油価格の上昇、貿易摩擦の懸念等、景気の先行きの不透明感が増しました。

このような中、当社グループは、10年後、20年後の社会全体の構造変化を見据え、未来へのコンパス（羅針盤）として、長期ビジョン「NNI “Compass for the Future” 新しいステージに向けて～総合力の発揮とモデルチェンジ」を5月に策定し、新たな取組みをスタートしました。また、その通過点である2020年度を最終年度とする経営計画「NNI-120 II」を推進し、各事業において、製品・サービスの高付加価値化と販売拡大、コスト競争力強化と安全・安心の両立、成長分野への戦略投資等、スピード感を持って成長戦略の実行に取り組みました。

当第1四半期の業績につきましては、売上高は、国内製粉事業における前年の小麦粉価格改定の影響やエンジニアリング事業における大型工事の進捗等により、1,412億71百万円（前年同期比108.0%）となりました。利益面では、食品事業及びその他事業の売上高増加に伴う利益増や全社を挙げてのコストダウンをはじめとした収益向上施策により、営業利益は72億60百万円（前年同期比117.4%）、経常利益は90億52百万円（前年同期比113.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億83百万円（前年同期比110.2%）と増益となりました。

(前年同期比較)

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	130,788	141,271	10,483	108.0%
営業利益	6,185	7,260	1,075	117.4%
経常利益	7,960	9,052	1,092	113.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	5,521	6,083	562	110.2%

〔セグメント別営業概況〕

①製粉事業

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	57,406	60,683	3,277	105.7%
営業利益	1,963	2,625	661	133.7%

製粉事業につきましては、消費者の節約志向の継続等を背景とした厳しい市場環境の中、新規顧客の獲得を進め、国内業務用小麦粉の出荷は前年並みとなりました。また、4月に輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄平均で3.5%引き上げられたことを受け、6月に業務用小麦粉の価格改定を実施しました。

生産・物流面では、食品安全の取組みを引き続き推進するとともに、生産性向上及び固定費削減に取り組みました。

副製品であるふすまにつきましては、価格は堅調に推移しました。

海外事業につきましては、タイの製粉工場買収による出荷増等により、売上げは前年を上回りました。なお、2019年初頭に完了予定である米国のMiller Milling Company, LLC サギノー工場の生産能力約70%増強工事は順調に進捗しております。

この結果、製粉事業の売上高は、国内事業における前年の小麦粉価格改定の影響や海外事業におけるタイの製粉工場買収による出荷増等により、606億83百万円（前年同期比105.7%）となり、営業利益は国内事業におけるふすま価格の堅調な推移やコストダウン等により、26億25百万円（前年同期比133.7%）となりました。

②食品事業

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	63,422	65,266	1,844	102.9%
営業利益	3,520	3,781	261	107.4%

加工食品事業につきましては、家庭用では、生活者の個食化・簡便化等のニーズにこたえ、好評をいただいているボトルタイプ製品の拡販を図ったほか、テレビCMをはじめとした広告宣伝活動、デジタルマーケティングの活用等、消費を喚起する施策を実施しました。業務用では、顧客ニーズに合わせた新製品の投入、新規顧客獲得に向けた提案活動を実施しました。中食・惣菜につきましては、幅広いカテゴリーの製品をフルラインアップで供給できる総合中食・惣菜事業を展開し、順調に拡大しております。これらにより、加工食品事業の売上は、家庭用新製品、中食・惣菜等が好調に推移し、前年を上回りました。

海外事業につきましては、プレミックス事業の売上は前年を上回りました。また、本年6月にベトナムの業務用プレミックス市場の開拓を目的としてVietnam Nisshin Technomic Co., Ltd. を設立し、2019年度冬の稼働予定で工場建設の準備を進めております。

酵母・バイオ事業につきましては、バイオ事業における診断薬原料等の出荷増等により、売上は前年を上回りました。なお、2020年夏頃の完工予定で、海外子会社であるOriental Yeast India Pvt. Ltd. がインドにおいてイースト工場の建設を進めております。

健康食品事業につきましては、医薬品原薬の出荷増等により、売上は前年を上回りました。

この結果、食品事業の売上高は、酵母・バイオ事業及び健康食品事業の売上高増加により、652億66百万円（前年同期比102.9%）となり、営業利益は、これらの増収効果等が寄与し、37億81百万円（前年同期比107.4%）となりました。

③その他事業

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	9,960	15,322	5,362	153.8%
営業利益	621	810	189	130.4%

ペットフード事業につきましては、犬の飼育頭数が減少し市場が縮小する中、新製品の投入やキャンペーンの実施等拡販に努めましたが、売上は前年を下回りました。

エンジニアリング事業につきましては、主力のプラントエンジニアリングにおける大型工事の進捗により、売上は前年を上回りました。

メッシュクロス事業につきましては、自動車部品向け等の化成品の出荷が好調で、売上は前年を上回りました。

この結果、その他事業の売上高は、エンジニアリング事業におけるプラント工事の売上高増加の影響等により、153億22百万円（前年同期比153.8%）となり、これに伴い、営業利益は8億10百万円（前年同期比130.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2018年3月期	2018年6月期	比較
流動資産	260,751	255,825	△4,926
固定資産	330,761	342,564	11,803
資産計	591,512	598,390	6,877
流動負債	114,189	108,949	△5,240
固定負債	63,528	67,656	4,127
負債計	177,718	176,606	△1,112
純資産	413,794	421,784	7,989
負債・純資産計	591,512	598,390	6,877

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況及び分析は以下のとおりです。なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、遡及処理後の前年度末の数値で比較を行っております。

流動資産は2,558億25百万円で、たな卸資産の減少等により、前年度末に比べ49億26百万円減少しました。固定資産は3,425億64百万円で、Miller Milling Company, LLC サギノー工場生産能力増強工事等の設備投資による有形固定資産の増加、保有している投資有価証券の評価差額金の増加等により、前年度末に比べ118億3百万円増加しました。この結果、総資産は5,983億90百万円となり、前年度末に比べ68億77百万円増加しました。

また、流動負債は1,089億49百万円で、支払手形及び買掛金の減少等により、前年度末に比べ52億40百万円減少しました。固定負債は676億56百万円で、投資有価証券の評価差額金の増加に対応する繰延税金負債の増加等により、前年度末に比べ41億27百万円増加しました。この結果、負債は合計1,766億6百万円となり、前年度末に比べ11億12百万円減少しました。純資産は親会社株主に帰属する四半期純利益による増加、配当金の支出による減少、その他の包括利益累計額の増加等により、前年度末に比べ79億89百万円増加し、4,217億84百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2020年度を最終年度とする経営計画「NNI-120 II」を通過点として、5月に策定した長期ビジョン「NNI “Compass for the Future” 新しいステージに向けて～総合力の発揮とモデルチェンジ」の実現に向けてグループ一丸となって取り組んでまいります。

2019年3月期の業績見通しにつきましては、第2四半期以降において広告宣伝費や研究費、人件費等の将来に向けた戦略コストの発生を見込んでおり、売上高は5,650億円（前期比104.6%）、営業利益は275億円（前期比101.1%）、経常利益は320億円（前期比100.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益は220億円（前期比103.1%）と、当初予想を据え置いております。

当期の配当につきましては、連結ベースでの配当性向の基準を40%以上とし連続増配により配当の上積みを図る基本方針のもと、当初の予想どおり、前期より3円増額の1株当たり年間32円を予定しております。これにより、実質的に6期連続の増配となる予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	91,635	89,763
受取手形及び売掛金	79,676	79,016
有価証券	7,857	7,149
たな卸資産	71,882	67,354
その他	9,892	12,726
貸倒引当金	△193	△185
流動資産合計	260,751	255,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,979	55,218
機械装置及び運搬具(純額)	38,700	37,671
土地	42,208	42,253
その他(純額)	14,054	16,308
有形固定資産合計	150,942	151,452
無形固定資産		
のれん	5,623	5,649
その他	6,786	6,122
無形固定資産合計	12,409	11,772
投資その他の資産		
投資有価証券	158,211	170,189
その他	9,322	9,273
貸倒引当金	△125	△123
投資その他の資産合計	167,408	179,340
固定資産合計	330,761	342,564
資産合計	591,512	598,390

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,492	53,089
短期借入金	7,892	7,715
未払法人税等	4,397	2,476
未払費用	19,291	16,104
その他	24,115	29,562
流動負債合計	114,189	108,949
固定負債		
長期借入金	7,194	7,594
繰延税金負債	27,184	30,942
修繕引当金	1,159	1,346
退職給付に係る負債	20,782	20,872
その他	7,207	6,900
固定負債合計	63,528	67,656
負債合計	177,718	176,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,117	17,117
資本剰余金	12,894	12,892
利益剰余金	306,415	308,274
自己株式	△11,695	△11,640
株主資本合計	324,732	326,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,467	78,114
繰延ヘッジ損益	△473	△381
為替換算調整勘定	6,352	4,088
退職給付に係る調整累計額	△800	△758
その他の包括利益累計額合計	74,546	81,063
新株予約権	189	193
非支配株主持分	14,327	13,882
純資産合計	413,794	421,784
負債純資産合計	591,512	598,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	130,788	141,271
売上原価	91,022	100,258
売上総利益	39,765	41,013
販売費及び一般管理費	33,580	33,752
営業利益	6,185	7,260
営業外収益		
受取利息	38	85
受取配当金	1,081	1,184
持分法による投資利益	604	383
その他	169	204
営業外収益合計	1,893	1,857
営業外費用		
支払利息	51	47
その他	67	17
営業外費用合計	118	65
経常利益	7,960	9,052
特別利益		
固定資産売却益	276	51
投資有価証券売却益	1	0
特別利益合計	277	52
特別損失		
固定資産除却損	70	52
特別損失合計	70	52
税金等調整前四半期純利益	8,167	9,052
法人税等	2,275	2,573
四半期純利益	5,892	6,478
非支配株主に帰属する四半期純利益	371	394
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,521	6,083

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	5,892	6,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,198	8,638
繰延ヘッジ損益	△34	100
為替換算調整勘定	△1,953	198
退職給付に係る調整額	36	12
持分法適用会社に対する持分相当額	26	△53
その他の包括利益合計	1,273	8,896
四半期包括利益	7,166	15,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,835	15,209
非支配株主に係る四半期包括利益	330	165

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する適用指針」第15項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日または1月31日の連結子会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っておりましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より、一部の連結子会社（Miller Milling Company, LLC 他8社）については、連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2018年1月1日または2018年2月1日から2018年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	製粉	食品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	57,406	63,422	120,828	9,960	130,788	—	130,788
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,922	122	4,044	472	4,516	△4,516	—
計	61,328	63,544	124,872	10,432	135,305	△4,516	130,788
セグメント利益	1,963	3,520	5,483	621	6,104	80	6,185

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	製粉	食品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	60,683	65,266	125,949	15,322	141,271	—	141,271
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,044	99	4,144	795	4,939	△4,939	—
計	64,727	65,366	130,093	16,117	146,211	△4,939	141,271
セグメント利益	2,625	3,781	6,406	810	7,216	44	7,260

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。